



発行 党員委員会  
日本共産党  
春日部市中央  
春日部市  
7-10-9  
電話 736-9933  
FAX 736-9991

12月議会  
本会議質疑

# 放課後児童クラブは 指定管理やめ、直営で

11月28日(水)本会議で、松本ひろかず議員は、放課後児童クラブの管理・運営を来年4月から5年間、(株)トライグループに指定管理者として指定する議案について質疑をおこないました。

重大なことを「市の職員だけで決定」は問題

「支援員160人の身分、児童の保育に関わる重大なことを、関係者に知らせもしないで、市の職員9名で決定したことは大問題」と指摘。子ども未来部長は「ルールにも

とづいておこなった。選定委員会のあり方について必要があれば全庁的に見直す必要がある」と答弁しました。

常勤支援員は116人

以上の配置が必要

募集要項では、支援員の配置は、「支援の単位ごとに常勤支援員を必ず2人以上配置すること。51人から70人の場合は、25人につき1人以上を加配すること」となっています。30年度の入室児童数を元に算出すると、社会福祉協議会(社協)は91人の常勤支援

員が必要と算出しました。

また、「特別支援児童の入室クラブについては、原則、支援員を加配すること」となっています。このことについて、

社協が「特別支援児童入室クラブの支援員加配は、常勤支援員のことか」との事前に質問に対して、市は「支援員は常勤の職員(有資格者)を指す」と回答。この回答により社協は、40クラブすべてに1名ずつ常勤支援員を加配して合計131人の常勤支援員が必要と計算しました。

しかし、質疑で部長は「見解の相違で、常勤支援員は93人と考えている。特別支援児童支援員の加配は常勤・非常勤のどちらでも良いとなっている」と、社協への回答とは異なる答弁をしました。市と社協の人員費算出の根拠が大きく違うことが明らかとなりました。

松本ひろかず議員は「現在、

25クラブに特別支援児童が入室しているので、常勤支援員は25人を加え116人が必要」と主張しました。

低すぎる「基準価格」  
低賃金と質の低下に

市が示した指定管理料である「基準価格」は、5年間で20億9757万円で約90%は人件費です。社協は、人件費だけで「基準価格をオーバーし赤字になる」として応募しませんでした。

松本ひろかず議員は「現在の常勤支援員の給与は月額14万9200円、16万5700円で、年収は最高で260万円程度。民間企業が利益を得るには、さらなる低賃金と必要な備品や教材などの削減が行われ、保育の質が低下することになる」と指摘し、指定管理はやめて、越谷市のように市の責任で運営(直営)するよう主張しました。

富山市

公共交通を軸としたまちづくり  
高齢者の外出機会の増加

11月14日、党市議団は、公共交通を軸としてまちづくりをすすめている富山市(41万8686人)を視察しました。

富山市のまちづくりの基  
本方針は「鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の機能を集積させることにより、公共交通を軸としたコンパクトな街づくり」です。

公共交通の充実で歩いて外出できる街へ

第1に取り組んだのは、富山ライトレールの整備(平18)です。赤字だったJR富山港線を低床車両と



富山市の中心部を走る路面電車ライトレール

し、運行間隔の短縮(30分を15分間隔)や駅の増設で、出歩かなかった高齢者の乗客数が2倍になりました。

第2は、以前から走っていた路面電車を一部延伸し、環状化したことにより、高齢者の外出機会が増え、まちなか居住者が歩いて暮らせるようになりました。

第3は、JR高山本線に新駅をつくり、駅前広場、トイレなどを整備したことにより、乗客数を増加しました。

まちづくりに必要なものは行政がコストを負担

その他、交通施策充実のために、①65才以上の高齢者に、中心市街地に出かける際に公共交通利用料金を100円にする「お出かけ定期券事業」、②花束を購入し、市内電車等に乗車すると運賃が無料になる「花Tramモデル事業」、③ホテルの宿泊客に市電料金半額(外国人は無料)の利用券を配布する事業などに取組み中心市街地の活性化を進めています。

また、合併した自治体の公共交通も充実しています、地域のコミュニティバス

は、自主運行を基本とし、市が運行経費を補助し、困難な中山間地域では市が行っています。バスの運行ができない山間地では高齢者を対象とした予約型乗合タクシーを導入し、北部地域では、富山ライトレールに接続したライダーバス(支線)の運行などをおこなっています。

コンパクトなまちづくりの軸となる幹線公共交通の整備とともに、郊外などでは生活交通を確保することに力を入れています。

「市が財源を負担して、住民に利用してもらうことが経済効果です。」との話に自治体のあるべき姿がありました。

春日部市も「駅を拠点としたネットワーク型コンパクトシティ」を施策に掲げていますが、更なる公共交通の充実が必要です。

外患科 藤田 雅夫

市立医療センター Tel.735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外 救急電話相談 #7119 またはTel.048-824-4199

12/9(日) 藤通り大和田内科クリニック(内科系)中央2-17-10 電話760-2220 岡田医院(小児科系)一ノ割2-6-12 電話763-7848 わかば耳鼻咽喉科医院(外科系)中央1-11-4 電話763-0908

12/16(日) 木田内科医院(内科系)中央1-11-4 電話763-0183 グレース家庭医療クリニック(小児科系)大倉610-10 電話718-0107 梅原病院(外科系)小淵455-1 電話752-2152